

## 第29章 地域編⑤：バタム島

### 1. 地域概要

#### (1) 概要

##### ①インドネシア国内における経済的地位

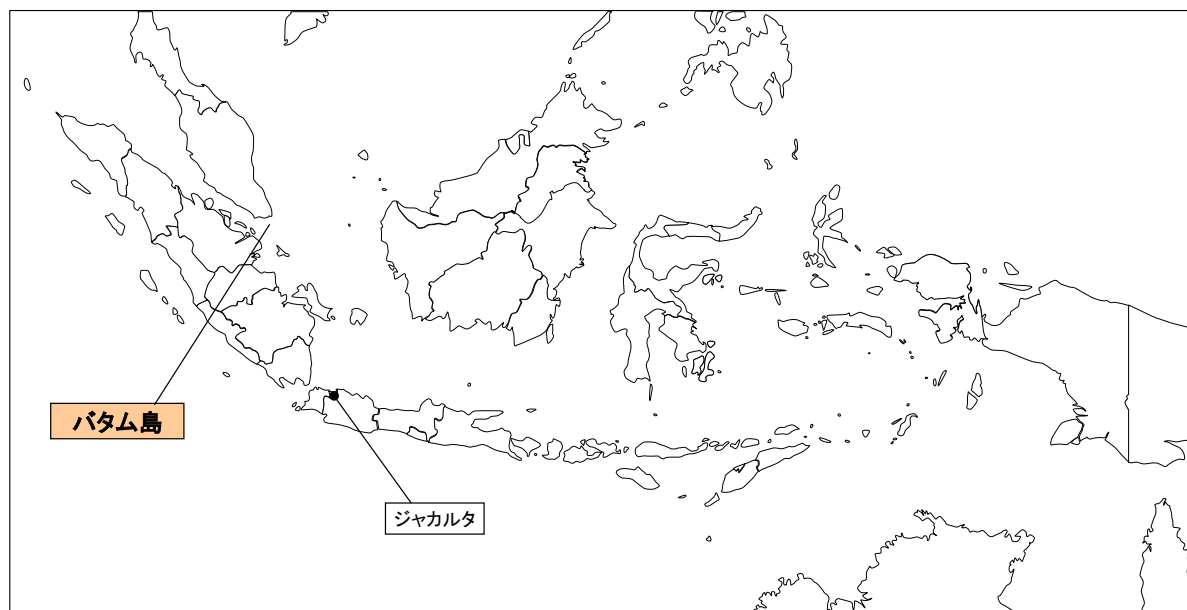
バタム島は、リアウ諸島州を構成する島の1つで、スマトラ島の西海岸中央付近、また、シンガポールの南約20 kmに位置する（図表 29-1）。リアウ諸島全体の人口は218万人である。

シンガポールに隣接する地理的優位性から、バタム島はシンガポールへの輸出加工拠点として発展してきた。1971年に工業地域に指定され、当初、主に石油・ガス関連産業を中心に開発が始まった。以後、1978年にはバタム島全域が保税地区に、2007年には自由貿易地域（Free Trade Zone, FTZ）に指定された。

輸出型産業向けの恩典によりシンガポールや日本企業をはじめとする外資企業が多く進出した。しかし、中国の台頭や最低賃金の高騰、行政手続の重複などを背景に、近年、競争力低下が懸念されていた。このような中、地方格差の是正や輸出産業強化を目指すジョコ政権により、2016年3月に中央政府直轄の経済特区（SEZ）に指定されている。

バタム島は、輸出産業の企業であれば、税務上の恩典などがあり、またシンガポールの港湾へのアクセスも良いことから、進出のメリットがある。他方、内需産業の企業にとっては、バタム島から他の関税地域に商品を販売する場合には付加価値税などを納付する必要があり、国内の最大消費地であるジャカルタには遠いため、進出のメリットは少ない。

図表 29-1 バタム島（地図）



（出所）白地図専門店（三角形）より作成

## ②工業団地・日系企業進出動向

島中央部に位置する Batamindo Industrial Park は、シンガポールのセムコープ社が開発・運営する代表的な工業団地であり、日本企業も数多く入居している。特に電気・電子部品製造業が多く集積し、シンガポールを経由して日本やその他の国々に輸出している。一方、特に 2018 年以降、バタム島の最低賃金や海運コストの上昇、頻発するデモなどを嫌い、事業の縮小や撤退を決める外資企業（日系を含む）も目立つ。なお、日系企業以外では、台湾の和碩聯合科技（ペガトロン）が 2019 年に同工業団地に入居し、米アップル社「iPhone」向けチップの生産を開始する計画である。

一方、バタム島をインドネシアとシンガポールにとっての「デジタルの架け橋」とする構想が両国政府及び民間企業によって 2018 年から進められ、2018 年 3 月に情報通信技術（ICT）分野の専門団地「ロングサ・デジタル・パーク（NDP）」が設置されている。同団地では米国アップル社による Apple Developer Academy が開設されており、シンガポールのスタートアップ企業などが入居している模様である。2024 年には、観光・医療分野を推奨業種とする新たな SEZ がセクパン地区とロングサ地区に設置された。また、同年には NDP が経済特区（SEZ）として拡張指定され、データセンター開発が強化されている。

## (2) 進出日系企業から見た事業・生活環境やコスト

### 【恩典】

バタム島は、2016 年 3 月に中央政府直轄の経済特区となった。また、バタム島の開発・管理はバタムフリーゾーン監督庁（Batam Indonesia Free Zone Authority : BIFZA）が行っている。日本アセアンセンターによれば、BIFZA は日本事務所も構えている<sup>15</sup>。

2009 年 10 月 14 日付第 39 号経済特区法（2020 年 11 月 2 日付 2020 年第 11 号雇用創出法で改正）で、所得税便宜、輸入関税の留保、輸入に係る諸税の不徴収、地方税・課徴金の減免、土地や各種許認可などにおける便宜が供与されると定められた。租税、関税、物品税の取扱についての細則は、2020 年 12 月 30 日付財務大臣規定 2020 年 237 号（No.237/PMK.010/2020）。また、2021 年 2 月 2 日付大統領規程 2021 年 10 号（2021 年 5 月 24 日付大統領規程 2021 年第 49 号で改訂）にて、外資出資規制をはじめとした条件付き投資規定も経済特区には適用されないとされている。

また、バタムは自由貿易地区にも指定されており、自由貿易地区及び自由貿易港に指定された地区（指定期間 70 年）では、輸入関税、付加価値税、その他輸入に係る諸税が免除される。自由貿易地区/自由貿易港内の事業者は、VAT 課税業者登録（PKP）をする必要がなく、自由貿易地区/自由貿易港内での物品の引渡しに係る VAT は免除される。また、海外、他の自由貿易地区/自由貿易港から自由貿易地区/自由貿易港への物品の搬入には、輸入関税と VAT は免除され、前払い法人所得税（PPh22）は不徴収とされる。一方、保税蔵置所、経済特区から自由貿易地区/自由貿易港への物品の搬入には、輸入関税は免除され、VAT と PPh-22 は不徴収とされる。

<sup>15</sup> [https://www.asean.or.jp/ja/invest/country\\_info/indonesia/guide/contact/](https://www.asean.or.jp/ja/invest/country_info/indonesia/guide/contact/)

## ①インフラ・物流

### 【港湾】

港湾については、4つの商港がある。その中で最大の Batu Ampar 港は、水深 6～12 m、積載重量 3.5 万トン級のコンテナ船が入港可能であるが、将来的に 15 万トン級のコンテナ船が寄港できる規模にまで拡張する計画が進行している。また、港湾関連の許認可や手続き、取引などを一本化する新たな物流システム「バタム・ロジスティック・エコシステム」の運用が開始されている。2022 年 1 月には、新たにコンテナ港を建設する計画がインドネシア政府より公表され、2024 年 5 月に着工した。これらの商港のほかに、シンガポールやマレーシア、他の国内港をつなぐフェリーターミナルが 6 カ所存在する（うち、1 カ所は商港と併設）。

### 【空港】

バタム島には Hang Nadim 国際空港がある。インドネシアの国営空港運営会社アンカサ・プラ建設ウィジャヤ・カルヤ、韓国の仁川国際空港公社が参加するコンソーシアムが 2022 年 7 月より同空港の運営を担っている（25 年間）。既存の旅客ターミナルを全面改修し、第 2 旅客ターミナルを新設、進行中の貨物ターミナルの開発・管理を引き継ぐほか、空港内施設の整備も実施。路線の拡充にも注力する計画である。バタム島からインドネシアに入国する外国人の数は、バリ、首都ジャカルタに次いで多い。

### 【電力】

バタム島では、国有電力会社である PLN の他、民間の電力会社も電力を供給しており、電力供給は比較的安定している。停電はあまり発生していない。

### 【水道】

島内に大きな川や湖など天然の水源がないため、大規模な貯水池を作り水道水を供給している。

### 【道路】

道路事情については、ジャカルタのような渋滞が発生することはない、車での移動はスムーズである。バタム島自体がそれほど大きくなく、各工業団地から港湾や空港までの所要時間も 30 分から 1 時間程度である。

## ②労働事情

### 【人材】

2019 年 6 月の日系企業に対するヒアリングでは、一般ワーカーに関しては、求人広告を掲示すれば求人数を大きく上回る数の就職希望者がすぐに集まるため、人材確保にはそれほど苦労していないとのコメントが得られた。

そのため、採用にあたっては「正社員」ではなく「契約社員」として最低賃金近辺での採用が一般的であり、契約期間（最大 5 年間）満了をもって新たに人材を採用する形をとっている企業が多い。一方で、英語が話せるマネージャークラス人材の採用は難しいとのことである。2011 年には労働者 1 万人以上が参加する抗議活動が発生するなど、かつてバタム島では毎年のように労使紛争が起こっており、多くの企業の生産活動に影響を及ぼしていた。しかし、2019 年 6 月時点で日系企業を訪問した際には、各社とも、深刻なデモなどはしばらく発生していない様子であった。労使で定期的な話し合いを設け、職場環境に関する不満の解消に努めるなど、工夫しているようだ。

### 【賃金】

バタム市の 2024 年の最低賃金は月額 469 万ルピアである。この水準はジャカルタ（同 507 万ルピア）に近い。

## ③生活環境

### 【食事】

インドネシア資本の大型スーパーマーケットやカルフル、コンビニエンスストアも進出している。和食レストランも 5～6 軒あり、2019 年に正式オープンした Gran Batam Mall（ショッピングモール）内には 2025 年 1 月時点でユニクロや吉野家も出店している。

### 【一般】

ゴルフ場も複数あり、単身者にとっては比較的住みやすいとの声もある。ただし、インターナショナル・スクールはあるものの、日本人学校はなく、医療レベルも高いとはいえないことなどから、家族とともにバタム島に赴任する例は多くはないようである。シンガポールがすぐ近くであることから、家族はシンガポールに居住し、日本人駐在員のみ平日はバタム島に居住、週末にシンガポールに戻って家族と過ごすケースも見られるようだ。



バタミンド工業団地入居企業の外観



Gran Batam Mall の外観

## 2. 主要工業団地

バタム島（No.14 はビンタン島）に立地する主要工業団地を以下の表にまとめた。

No.	工業団地名	Address
1	Gammo Industrial Park	Gammo Building, Gammo Industrial Park Jl. Letjen Soeprapto Pulau Batam
2	Citra Buana Industrial Park	Citra Buana Building No. 1 Seraya, Pulau Batam 29454
3	Executive Industrial Park	Jl. Engku Putri, Complex Executive Industrial Park Blok.1 No.1 Batam Centr
4	Indah Industrial Park	Jln. Hang Kesturi Km. 4, Kabil – Batam 29467
5	Latrade Industrial Park	Latrade Industrial Park – Tanjung Uncang Batam 29422
6	Panbil Industrial Estate	Panbil Plaza, Jl Ahmad Yani, Muka Kuning Batam 29433
7	Puri Industrial Park 2000	Jl. Imam Bonjol Blok A No. 7-8-9 Komplek Sakura Anpan – Kota Batam
8	Sarana Industrial Point	Jl. Engku Putri, Komplek Sarana Industrial Point, Blok A No. 12A, Batam Centre
9	Taiwan International Park	Taiwan International Park Kabil Centre, Jl. Hang Kesturi, No. 1, Batam
10	Tunas Industri Kabil	Jl. Engku Putri Ruko 1A No. 10 Batam Centre, Pulau Batam
11	Union Industrial Park	Komp. Union Industrial Park Blok AA No.7-8 Batu Ampar – Batam
12	West Point Maritime Industrial Park	Jl. Bukit Indah Raya III No. 57 Sukajadi – Batam
13	Batamindo Industrial Park	Wisma Batamindo, Jl. Rasamala No.01, Mukakuning, Batam 29433, Kepulauan Riau
14	Bintan Inti Industrial Estate	Jl. Tanjung Lobam, Wisma Bl E Lobam – Bintan

（出所）BKPM “Indonesia Investment Guidebook 2022”